

クリスチャン生活と召会生活とにおける神の王国の発展

(金曜日—一夜の部)

メッセージ 3

王国と召会

聖書：マタイ 16:18-19. 18:15-22. ローマ 14:17. 啓 1:6. コロサイ 1:12-13

I. 聖書はまず王国を提示し、その後で召会を提示しています。王国の出現が召会を生み出します——マタイ 4:23. 16:18-19 :

A. 神の命は、神の王国です。神聖な命は王国であり、この命が召会を生み出します——ヨハネ 3:3, 5. マタイ 7:14, 21. 19:17, 29. 25:46 :

1. 王国は命の領域であり、そこにおいて命が行動し、支配し、統治して、その目的を達成します。この領域が王国です。
2. 福音は神聖な命をもたらし、この命にはその領域があります。それが王国です。その領域を伴う神聖な命は、召会を生み出します——IIテモテ 1:10。
3. 王国の福音は、召会を生み出します。なぜなら、王国は命そのものであり、召会は命の結果であるからです——マタイ 4:23. 使徒 8:12。

B. 王国は召会の実際です。ですから、王国の命から離れて、わたしたちは召会生活をするにはできません——マタイ 5:3. 16:18-19. 啓 1:4-6, 9 :

1. 天の王国の実際は (マタイ第 5 章—第 7 章)、召会生活の内容です。王国の実際がなければ、召会は空虚です。
2. 王国の命は召会生活を生み出すので、わたしたちは団体的に王国の命の中で生活するとき、自然に召会生活をします——ローマ 14:17。
3. 王国の実際の中に生きていない信者は、召会の構造の中へと建造されることはできません——エペソ 2:22。

C. 召会の実際としての王国がなければ、召会が建造されることはできません——マタイ 16:18-19 :

1. 召会は王国の権威を通して生み出されます。
2. 王国のかぎが与えられているのは、召会が建造されることができるようにするためです——19 節. 18:18. 参照、ヨハネ 20:23。
3. 天の王国が一群れの信者に対して権威を行使することができる時、それらの信者たちは召会の中へと建造されることができます——コロサイ 2:19. エペソ 4:15-16。

D. 召会生活におけるバイタルグループの目的は、王国の生活、神・人の生活をする事です。バイタルグループは、召会の真の代表です——マタイ 18:15-22。

II. 真の召会は、この時代における神の王国です。今日、信者たちは召会の中で王国の生活をします——マタイ 16:18-19. 18:17-18. 13:44-46. ローマ 14:17. I コリント 4:2

0. エペソ 2:19. コロサイ 4:11. 啓 1:4-6 :

A. 主イエスが召会について語った時はいつでも、王国に関連して召会を述べました。このことは、王国と召会がどれほど密接に関係しているかを示します——マタイ

16:18-19. 18:17-18 :

1. ローマ第 14 章 17 節は、この時代における召会が神の王国であることを証明します。
 2. I コリント第 4 章 20 節の「神の王国」は、召会生活を指しています (17 節)。それは権威の意味において、この時代における召会が神の王国であることを暗示します。
 3. エペソ第 2 章 19 節の「同じ国籍の者」という用語は、神の王国、すなわち神がご自身の権威を行使する領域を示します。
- B. 啓示録第 1 章 6 節の「王国」という言葉は、召会がある所に神の王国があることを啓示しています。召会は王国を代表します。
- C. 王国としての召会の中で、わたしたちは支配、統治、管理、訓練の下にいます—— I コリント 6:9-10. ガラテヤ 5:19-21. エペソ 5:5。
- D. 主の回復において、わたしたちは同時に王国と召会の中におり、また宝と真珠の中にいます——マタイ 13:44-46。
- E. 今日の召会は神の王国ですが、わたしたちは天然の人の中ではなく、霊の中で生き、歩き、存在するときをはじめ、実際において王国の中にいます——ローマ 8:4. ガラテヤ 5:16, 25。

Ⅲ. 御父はわたしたちを暗やみの権威から救い出して、彼の愛する御子の王国に移してくださいました——コロサイ 1:12-13 :

- A. 神の愛する御子の王国は、三つの時代から成っています。それは、召会がある現在の時代、千年王国がある来たるべき時代、新天新地における新エルサレムを伴う永遠の時代です—— 13 節 :
1. コロサイ第 1 章 13 節における強調は、この時代における神の愛する御子の王国です。それは召会の実際です。
 2. 今日の召会生活は御父の愛する御子の王国です。それは神の御子と同じように、父なる神にとって喜ばしいのです—— 4:15-16。
- B. わたしたちは、神の愛する御子の王国としての召会の内在的な意義を理解する必要があります—— 1:13 :
1. 神の御子は神聖な命の具体化であり、表現です。このゆえに、御子の王国は命の領域です—— I ヨハネ 5:11-12. ヨハネ 1:4。
 2. わたしたちが移された王国は、神の愛する御子の王国です。この命の領域は恐れの中にあるのではなく、愛の中にあります——コロサイ 1:13。
 3. わたしたちが今日いる王国は、命、光、愛に満ちた領域です—— I ペテロ 2:9。
 4. 御父の御子は、命の源としての御父の表現です——ヨハネ 1:18, 4. I ヨハネ 1:2 :
 - a. 御父の愛する御子は、御父の愛の対象であり、復活における権威を伴う神聖な愛の中で、わたしたちにとって命の具体化となります——マタイ 3:17。
 - b. 御子は神聖な命の具体化として、御父の愛の対象です—— 17:5 :
 - (1) 御子の中に具体化されている神聖な命は、神聖な愛の中でわたしたちに与えられます—— I ヨハネ 5:11-12. ヨハネ 3:16。
 - (2) 神聖な愛の対象は、復活における権威を伴う神聖な愛の中で、わたしたちに

とって命の具体化となります。これが、御父の愛する御子の王国です。

5. 御父の愛する御子の王国の中へと移されることは、わたしたちにとって命である御子の中へと移されることです—— I ヨハネ 5:11-12 :
 - a. 復活の中の御子は、今や命を与える霊であり、彼は復活の命の中で愛をもってわたしたちを管理します—— I ペテロ 1:3. ローマ 6:4-5. I コリント 15:45 後半。
 - b. わたしたちは復活の中でわたしたちの命としての御子によって生きるとき、彼の王国の中で生きて、御父の愛の中で彼を享受しています。ここでわたしたちは召会生活を持ちます——コロサイ 3:4. ヨハネ 6:57。
 - c. 御父は彼の御子を喜ぶので、御父の愛する御子の王国は喜ばしいものであり、喜びの事柄です——マタイ 3:17. 17:5。
- C. 神の愛する御子の王国としての召会の中で、わたしたちはキリストの有機的なからだの実際と実行を持ちます——コロサイ 2:19。
- D. 神の愛する御子の王国としての召会の中で、わたしたちは一人の宇宙的な新しい人の実際と実行を持ちます——エペソ 2:15. 4:24. コロサイ 3:10-11。